

## 基本情報



【年齢】  
39歳  
【出身地】  
東京都板橋区  
【転出元】  
東京都板橋区  
【前職】  
YouTuber/Webコンサル  
【活動時期】  
R3.8～

## 協力隊に応募したきっかけ

R3年の春、取材の仕事で初めて小豆島を訪問、土庄町に滞在。この取材で移住者、協力隊卒業生、地域の方々と交流する機会があり、自身の情報発信に関する実績やノウハウで地域の役に立てるかもしれないと感じる。1週間の滞在中に偶然見かけた移住者インタビューの記事内に締切間近の協力隊募集情報を見つけて応募に至る。（他にもいくつか理由があるので詳細は下記記事をご参照ください。）

▶海外から一時帰国した私が小豆島へ移住した7つの理由  
<https://00m.in/mGVpL>

## 今後の抱負・任期後の目標

## ▶今後の抱負

地域おこし協力隊とは、「地域が持続可能になる方法を共に模索する存在」「地域に気付きを与える存在」「地域が多様性をもつための存在」この3つを指針にして行動しています。地域で頑張る人や魅力をSNSを始めとした各種媒体で発信しながら、土庄町の魅力を伝えていく所存です。

## ▶任期後の目標

構想中ですが、協力隊を経験できたからこそ見えた地域の課題を解決するビジネスに取り組む予定です。

## 活動内容

## ●親子向けオンライン食育&amp;社会科見学イベント

全国の親子と地域の子どもを対象。魚食普及、漁師の仕事や地元漁協立ち上げの地魚ブランド小豆島島鯉の認知度拡大を目指した企画。Zoomを使い、料理家と一緒にハモのミンチでかまぼこを作り、調理の空き時間で漁港から活きたハモの様子を中継。参加者と漁師さんとの交流コーナーも設けた。

▶活動事例① <https://00m.in/MGGcK>



## ●学校給食の地場産物提供とYouTubeを使った漁業振興

町内の学校給食を担う給食センターが給食で地場産物を扱う際に協力隊としてコラボ。給食で食べるだけでなく漁師の仕事も知ってもらおうと底曳き網漁を取材、動画に。小中学校に導入されているICTを使って動画視聴、タブレットで質問を募集。給食中に漁港からYouTubeライブで中継。中学校と漁協の協力を得て、活きたハモの力強さと質問への回答を生放送。▶活動事例② <https://00m.in/vkdrm>



## ●漁師による魚礁設置と調査を県水産課協力のもと発信

瀬戸内海の漁獲量減少に悩む地元漁師らが漁業活動と並行し海の環境改善に取り組む活動の魚礁の設置、その後の香川県による水中ドローン調査、などを数ヶ月かけて同行取材。魚礁の設置、数ヶ月後に魚礁にタコを確認、魚礁付近で産卵期のタコ放流など、地元漁師の一連の活動を動画などで発信。

▶活動事例③ <https://00m.in/8BBWp>



## 連絡先

## 【メディア等の取材連絡先】

(電話番号) 土庄町役場 農林水産課 0879-62-7007

## 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(note) <https://note.com/sayulog/>

(Instagram) @tonosho\_tiikiokoshi / Facebook @tonosho.kyoryokutai